



花のトンネルがドライバーの目を楽しませる松栄(まつさか)の桜並木。昭和27年頃、集落の方々によって植栽され、見事な並木に育ちました

北秋田市の 特集



今年の鷹巣中央公園桜まつり(4/25 - 5/7)は、多くの花見客でにぎわいました。また、期間中は、ライトアップによる夜桜でも観桜客を楽しませました



桜

今年、市内では例年より桜の開花が遅れ、ゴールデンウィーク後半に見頃を迎えました。北秋田市内には、鷹巣中央公園や松栄集落のほかにも、桜の景観で地域の人々を楽しませている場所がいくつもあります。米内沢地区の阿仁川堤防や大野台ハイランドもその一つ。また、小中学校の中にも隠れた名所があります。日本人に最も愛されている樹木・桜。この5月、訪れる人々を魅了した市内の桜の名所をご紹介します。

民家の庭先に花を咲かせる樹齢30年ほどの見事なシダレザクラ(阿仁無水・宮越俊子さん宅)

校舎とグラウンドを囲む綴子小学校の桜並木。現校舎の落成(昭和41年)と学校創立95周年(昭和44年)を記念し、学校と地域の皆さんの手によって植えられました

大野台ハイランド。芝生広場の緑とさわやかな青空に、淡いピンク色の桜が溶け込んでいるようです



米内沢地区の阿仁川堤防。両側の桜並木と土手に植えられたスイセンが散策する人を和ませます



合川中学校。校舎とグラウンドの間に植えられた樹齢40年ほどのソメイヨシノ。生徒たちの元気をもらい、年々樹勢が増しているよう

阿仁川河川敷に整備されている「北緯40度カントリーパーク河川公園」。澄んだ清流とのコントラストが鮮やか

